

■メンテナンス

- ・ 使用後はチャージホース・汲み上げホースに残っている LLC を排出してください。
- ・ 真空ユニット内部に液体が残らないように、チャージホース・汲み上げホースを開放、排気ホースは容器に差したまま、エアバルブを開き切り替えバルブを真空に倒して、ブローを 30 秒程度行なってください。
- ・ 終了後、各バルブを閉じてください。

※コーンプラグを封止し、水を使用し真空・注入・ブロー作業を行なうと本機器をより良い状態に保つ事が出来ます。

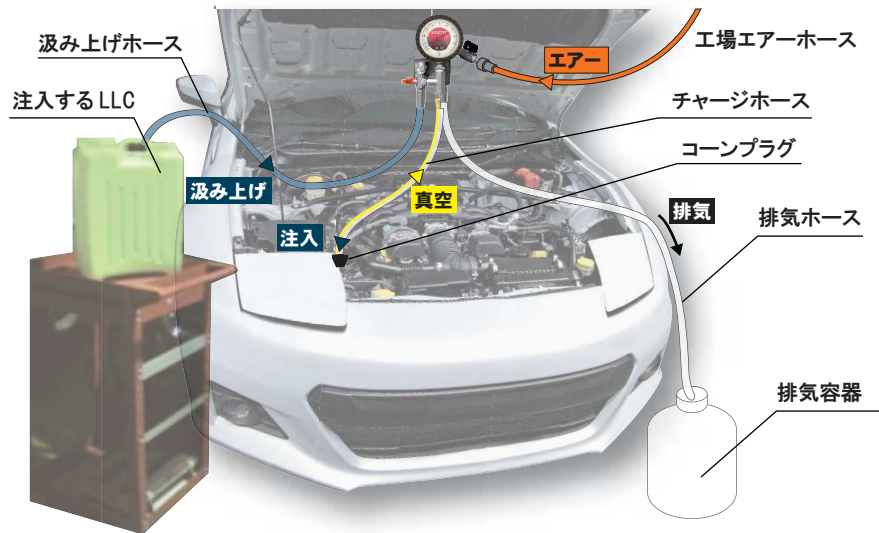
LLC バキュームチャージャー 取扱説明書



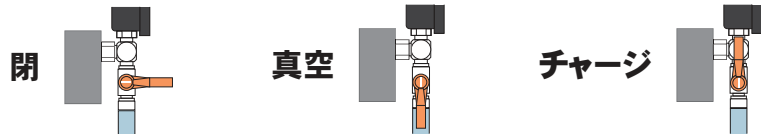
■特長

- ・ 当社オリジナルのツーステージ（2 段引き）により -0.097MPa （ 735mmHg ）と高い真空到達を実現しました。この性能で充分なエアー抜きと素早い注入が可能です。
- ・ 簡単な操作でしっかりした作業が短時間でこなせます。
- ・ コーンプラグ形状のアタッチメントにより、ほとんどの車両に接続可能です。
- ・ フックによる吊り下げ式で優れた操作性を発揮します。
- ・ 冷却回路の気密点検にも活用が可能です。

■接続方法



■切換バルブ操作位置



■事前準備

- ・エンジンと冷却水が冷めていること確認してください。(推奨 30℃以下)
- ※エンジンが暖かい状態での作業は LLC が蒸発し、真空度が悪くなり効率の良い注入が出来ません
- ・工場エアの圧力は 0.57 ~ 0.7MPa に設定してください。
- ※工場エアのホースは太い方が抵抗が少なく、圧力は 0.7MPa に近い方が性能を発揮し高い真空度が得られます。
- ・車輛から LLC が抜けている事を確認して下さい。
- ・適当な容器に注入する LLC を必要量より 1ℓ 以上多めに入れてください。
- ※高さ 1m 程度の台に載せると、抵抗が減り注入速度が上がります。
- ・排気の際 LLC の飛散を防止する為に適当な容器に排気ホースを入れてください。
- ・切換バルブを 閉 の位置に合わせてください。



■真空引き作業

- ・エアバルブを開いてください。
- ・切り替えバルブを 真空 の位置にしてください。
- ・しばらくしたら、汲み上げホースのエアを抜くためにゆっくりと切換バルブを チャージ に倒します。汲み上げホースに LLC が満たされたら直ぐに真空側に戻してください。
- ・真空を続けて指示が -0.095MPa 以上 (-0.098MPa=735mmhg 以上が最良) 上昇し安定するまで行ってください。
- ・表示が安定したら切り替えバルブを 閉 にしてください。
- ・エアバルブを閉じてください。



■リークチェック

- ・30秒～1分程度で表示が戻らないことを確認してください。
- ※表示が戻るようであれば、車輛に漏れが生じている可能性がありますので、確認して下さい。
- 本製品の故障が判断する場合はコンプラグを封止し、真空を行い漏れを確認して下さい。

■LLC注入作業

- ・切り替えバルブを チャージ にして LLC を注入してください。
- ・ゲージが 0 (ゼロ) に戻り LLC の流れが無くなったことを確認してください。
- ・LLC がこぼれないように注意して、コンプラグを外し LLC が満たされていることを確認してください。

